

特別の教育課程編成について（英語活動の実施）

1 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っている。小学校第1学年と第2学年では、「生活科」の時間のうち35（1年生は34）時間を「英語活動」に充てている。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」の35時間を「英語活動」に充てている。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案） ※令和3年度版

区分	各教科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としている。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたる。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいる。

【資料2】OK English



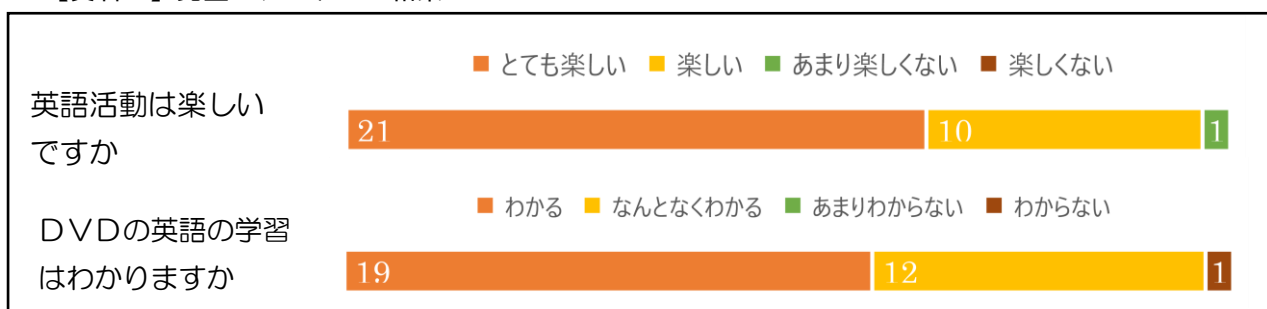
2 本校の取組

常磐東小学校では、毎日、午前8時15分から午前8時30分を「英語活動」の時間としている。児童は、DVDを視聴して一緒に英語の歌を歌ったり、単語や文を発音したりするなどして楽しく学習に取り組んでいる。また、学級担任は、児童の手本となるように、動作を交えながら率先して歌ったり、発音したりしながら指導を行っている。

3 成果（自己評価結果）

1年生から4年生（令和2年度）の児童32人を対象にアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか」という質問に対する回答数は「とても楽しい」が21人、「楽しい」が10人、対して「あまり楽しくない」が1人、「楽しくない」は0人であった。また、「DVDの英語の学習はわかりますか」という質問に対しては、「わかる」が19人、「なんとなくわかる」が12人、対して「あまりわからない」が0人、「わからない」が1人という結果となった。このことから、ほとんどの児童が英語活動に楽しく取り組み、DVDの内容を理解して学習できたと考えられる。

【資料3】児童のアンケート結果



4 学校関係者評価結果

令和2年度に行った保護者向けのアンケートでは、「子供は学校に行くことを楽しみにしている」という質問に対し、「よくあてはまる」、「だいたいあてはまる」と回答した保護者は、全体の97.9%であった。また、「学校は主に算数や英語の授業で、一人一人に対してわかる授業に努めている」という質問に対しては、「よくあてはまる」、「だいたいあてはまる」と回答した保護者は、全体の93.6%であった。このことから、全体の95%前後の保護者の方が、「子供は学校を楽しみにしている」「学校はわかりやすく英語を指導してくれている」と捉えており、学校の取組に対して一定の評価を得た。

【資料4】保護者のアンケート結果



5 まとめ

資料3のアンケート結果から、児童は日々のDVD視聴を通じて英語で話されている内容について、概ね理解しながら楽しく活動できたことがわかる。また、資料4のアンケート結果から、ほとんどの保護者が、英語活動を含めた授業や教育活動に理解を示していることがわかった。今後の課題としては、DVDの内容を活用してコミュニケーションの力を伸ばしていけるように指導方法をさらに工夫していく必要があると考える。